

丹波市市民憲章（案）

てん くだ みず
天から降る水のしずくを

きた みなみ わ ち たんばし
北と南に分ける地、丹波市。

きり わ あ だいち めぐ う
霧 湧き上がる大地の恵みを享けながら、

「おかえり」を合言葉に みんなが家族のように暮らします。

きょう い かんしゃ
今日、ここで生きること感謝して

あす しあわ おとず よろこ
明日、また幸せが訪れることを喜びながら

みらい つづ きぼう み
未来へ、はてなく続く希望に満たされるまち。

せんじん う つ み しそん ほこ
先人から受け継いだこのふるさとを、まだ見ぬ子孫に誇れるよう、

わたし しみん ひとり たが たいせつ
私たち市民は、一人ひとりを互いに大切にしたい

よりよき時代じだい に 夢つないでいきますゆめ。